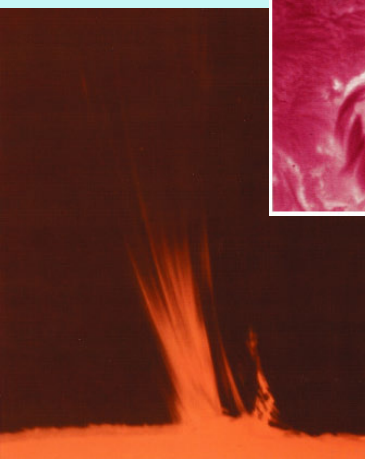


北アルプスの山々に囲まれた**飛騨天文台**は、安定したシーイング条件に恵まれて、太陽や惑星、恒星など、私たちにとって身近な宇宙を詳しく調べています。

ドームレス太陽望遠鏡



世界第一級の高空間分解能と最高性能の分光装置を備えており、アジアにおける太陽観測の中心として活躍しています。公募により他機関の研究者にも広く公開されています。



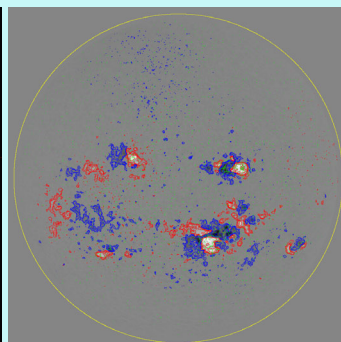
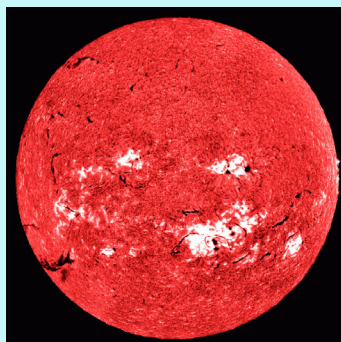
- ↑ 大規模太陽フレア
- ← 爆発的に噴出したプラズマ流

高分解能太陽全面像望遠鏡 (SMART)



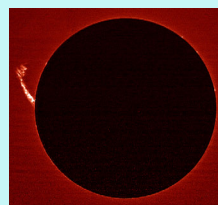
強い太陽面爆発を引き起こす捻れた磁場の誕生と発達過程を調べて、磁気エネルギーの蓄積・解放のメカニズムを解明するために開発された、世界最先端のシステムです。

- 左から
- ① 水素H α 線太陽全面像、
- ② ベクトル磁場全面像



太陽フレア監視望遠鏡

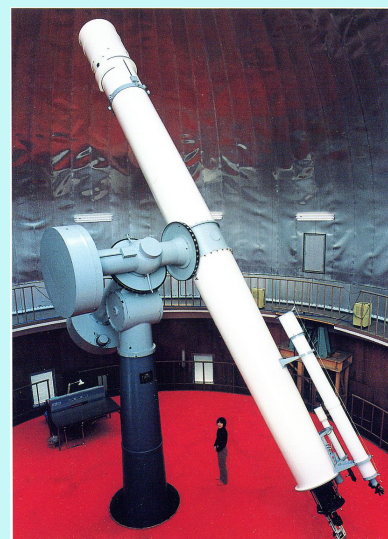
5つの波長で同時に太陽全面の活動を監視しています。写真は望遠鏡を収めている3mドーム



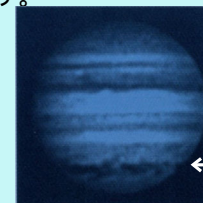
東のリムでの紅炎噴出



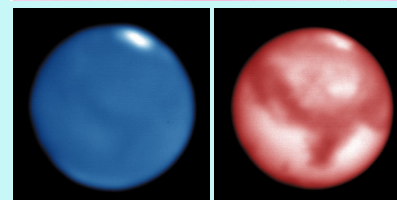
65cm 屈折望遠鏡



東洋一大きなレンズの高分解能を活かして、主として火星や木星などの太陽系天体を観測しています。



1994年7月、木星への1週間にわたるシューメーカー・レビー彗星衝突の様子



2003年の大接近に撮影された火星
左：青フィルター
右：赤フィルターをかけた撮影

60cm 反射望遠鏡



彗星、星団、星雲の広視野直接像観測や、激変星などの恒星の爆発現象を観測しています。

左：ウェスト彗星
右：いて座の三裂星雲

